

川崎市の求める教師像

川崎市の教員に必要な資質や能力は？



川崎市の求める教師像

子どもは誰でも「学びたい」「成長したい」と願っています。子どもに寄り添い、
子どもの願いを受け止め、子どもに意欲と感動を生み出していく。

川崎市では、そんなあなたを待っています。

*The Image of
Teachers We Seek*

1



子どもの話に
きちんと耳を傾ける
ことができる

2



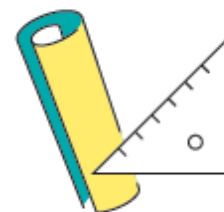
子どもと一緒に考え
行動する
ことができる

3



子どもに適切な
アドバイスを
与えることができる

4



教材研究が
きちんとできる

川崎市の求める教師像



① 子どもの話に
きちんと耳を傾ける
ことができる



聴く力・聞き出す力

子どもと教員との良好な人間関係づくりは児童生徒指導の前提となります。「傾聴」「受容」「共感」を基本とする指導ができる教員、子どもの話をしっかりと受け止め、気持ちを汲み取りながら聴く力を求めます。

川崎市の求める教師像



②子どもと
一緒に考え行動する
ことができる



気づく力・行動力

子どもが出しているサインや、サインを出せずに困っている子どもに気づくことが大切です。子どもと誠意をもって関わる行動力と、関わるなかで子どもの理解を深めていく力を求めます。

川崎市の求める教師像



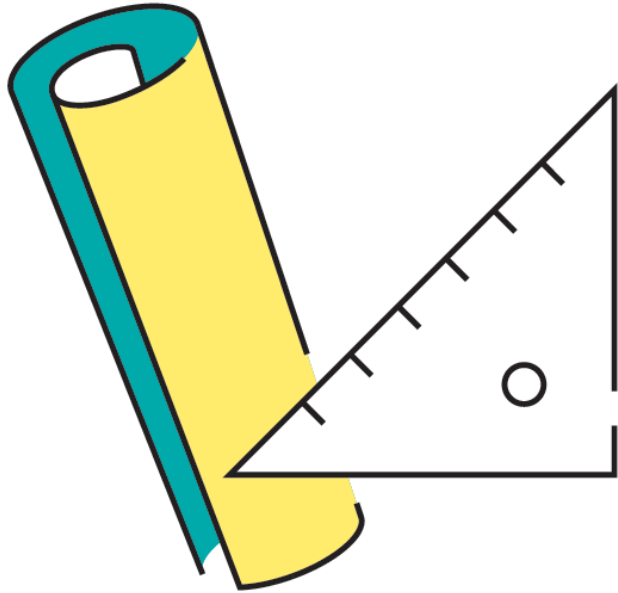
③子どもに
適切なアドバイスを
与えることができる



判断力・対話力

子どもたちが自ら課題に気づき、考え、行動する、そのはたらきかけが
本当の支援・指導・アドバイスです。「いつ・何を・どのように」するか、
教師の判断力と対話力を求めます。

川崎市の求める教師像



④教材研究が
きちんとできる



目的意識・向上心

子どもができた、わかったと感じる授業をつくることが大切です。身に付けさせる力、教材、展開、評価など目的意識をもって教材研究する教師を求めます。授業を見直し改善を図ろうとする意欲が授業力の向上に繋がります。

参考資料 川崎市教職員育成指標ステージ0（ゼロ）

令和6年3月一部改正

川崎市の教職員として着任時に求められる資質・能力		ステージ0	
		川崎市の教職員を目指す学生や社会人（非常勤講師を含む）	
		子どもに寄り添い、子どもの願いを受け止め、子どもに意欲と感動を生み出していくことのできる教師を目指す。	
		川崎市が着任時に求める教師像	
		子どもの話にきちんと耳を傾けることができる教師 子どもと一緒に考え行動することができる教師 子どもに適切なアドバイスを与えることができる教師 教材研究がきちんとできる教師	
		○教職を担うにあたり、教職員として必要となる素養を身に付ける。 教育に対する真摯な姿勢と子どもへの深い教育的愛情をもち、教職員として求められる資質・能力の基盤を形成します。	
基礎的 資質・能力	教職員として学び続ける力	自ら学ぶ姿勢を持ち、社会の状況を把握して、変化に対応し、教職員を目指して成長し続けるために学び続ける。	
	人間性を高め続ける	・教育に対する使命感や熱意、子どもに対する責任感や深い愛情を持っている。 ・適切な人権感覚及び社会人としての礼儀や規律を身に付けている。	
	社会性を高め続ける	・社会人として、適切な表現力やコミュニケーション能力を持っている。 ・他者を受け入れ共感し、良好な人間関係づくりや協議することの大切さを理解している。	
	自らを律する	・自身の健康管理と基本的な生活習慣の維持に努めている。 ・法令や規則、時間や提出期限等の順守等、自己管理に努めている。	
教員としての専門的 資質・能力	学習指導等	授業を計画する力	学習指導要領等を確認し、学習指導に必要な基礎的な知識について理解するとともに、授業の目標を明確にし、目標の実現に向けた指導展開を踏まえた授業づくりを意識して授業を計画しようとする。 ・子どもが学習意欲を持ち、子どもを中心とした「わかる授業」を実践するために、子どもの学習状況や実態を把握し、教材研究を行う大切さを理解している。 ・授業計画に基づいた学習指導案を作成することができる。 ・学習状況を目標に準拠して評価し、それを指導に生かすことの趣旨について理解している。 ・子どもの特性等を理解することやそれに応じた指導方法を考えることの大切さを理解している。 ・子どもの理解を助ける等のために、GIGA端末等のICT機器や教材教具を取り入れることが効果的であることを理解している。
	児童生徒指導等	子どもを理解する力	子どもの発達段階と子ども一人ひとりの実態把握の必要性について理解し、子ども一人ひとりに向き合い、子どもの話に耳を傾け、子どもと一緒に考え行動しようとする。 ・子どもとの信頼関係や子ども相互のよりよい人間関係を育てるために、子ども一人ひとりを理解し、一人ひとりを生かしながら、集団として成長させるための指導の大切さを理解している。 ・特別な配慮や支援を必要とする子どもの特性を認め、一人ひとりのニーズに応じた指導を行う必要性を理解し、その方策を考えようとしている。 ・子どもの個々の教育的な課題を捉え、状況に応じて子どもにアドバイスを与えることの大切さを理解している。 ・情報モラル及び情報セキュリティの基本的な知識を確認し、子どもへの指導方法を考えることの大切さを理解している。
	マネジメント	組織を意識できる力	学年組織や校務分掌等、学級担任の役割や仕事内容を理解し、組織の一員として行動しようとする。 ・周囲の意見を聴き、適切なコミュニケーションを図りながら、集団の中で、協働的に行動することの大切さを理解し、連携・協働を大事にして行動しようとしている。 ・学校において保護者や地域等と積極的に関わることの必要性を理解し、普段から意識的に行動している。 ・子どもの安全安心を大切にし、学校で起こりうる危険や問題について未然に考えることの大切さを理解している。

参考資料 川崎市教職員育成指標ステージ0（ゼロ）

養護教諭としての専門的資質・能力	保健管理	・学校保健安全法に基づいた適切な救急処置等の保健管理について理解し、実践しようとしている。 ・保健管理業務でICTやデータを活用することにより、業務の効率化や成果の向上を図ることができることを理解している。
	保健教育	学習指導要領を理解し、保健教育に必要な基礎的な知識を有し、ICTを活用した学習指導案を作成することができる。
	健康相談及び保健指導	・健康相談及び保健指導の法的位置付けを理解し、基本的な知識及び相談技術を有し、子どもに寄り添う姿勢を持っている。 ・特別な配慮や支援を必要とする子どもの健康課題を理解し、個に応じた健康相談及び保健指導を実践しようとしている。
	保健室経営	養護教諭の役割と保健室の機能について理解し、子どもの健康づくりを推進しようとしている。
	保健組織活動	校内の保健組織や、学校保健委員会等の役割について理解している。
	学校マネジメント	・学校保健計画の法的位置付けを理解している。 ・安全で安心な学校をつくる意義を理解し、危機や課題が発生した場合に組織の一員として適切に対応しようとしている。

学校栄養職員としての専門的資質・能力	給食管理	栄養管理	・学校給食の役割について理解し、適切な栄養管理を実施しようとしている。 ・給食管理業務でICTやデータを活用することにより、業務の効率化や成果の向上を図ることができることを理解している。
		衛生管理	衛生管理の重要性を理解し、適切な衛生管理を実施しようとしている。
	調査研修等	研修・調査等	・研修会に参加する意欲を持ち、子どもの実態を把握するための調査の意義や方法を理解している。 ・調査等にGIGA端末等のICT機器を取り入れることが効果的であることを理解している。
	食に関する指導	給食の時間	学校給食を生きた教材として活用する意義や方法を理解し、食に関する指導を実践しようとしている。
		個別的な相談指導	食物アレルギー、偏食、肥満・やせ等の特別な配慮や支援を必要とする子どもの健康課題を理解し、個に応じた相談指導に取り組もうとしている。
		教科等	・食に関する指導の全体計画を管理職や関係教職員と連携や協力をし、作成することの大切さを理解している。 ・食に関する指導を管理職や関係教職員と連携や協力をし、指導する内容の基礎基本を理解している。 ・子どもの理解を助ける等のために、GIGA端末等のICT機器や教材教具を取り入れることが効果的であることを理解している。 ・栄養教諭を中核としたネットワーク支援*の取組とその意義について理解している。
	学校マネジメント	危機管理	食物アレルギー、食中毒、異物混入等危機管理に関する基礎的な知識を身に付け、危機や課題が発生した場合に、組織の一員として適切に対応しようとしている。

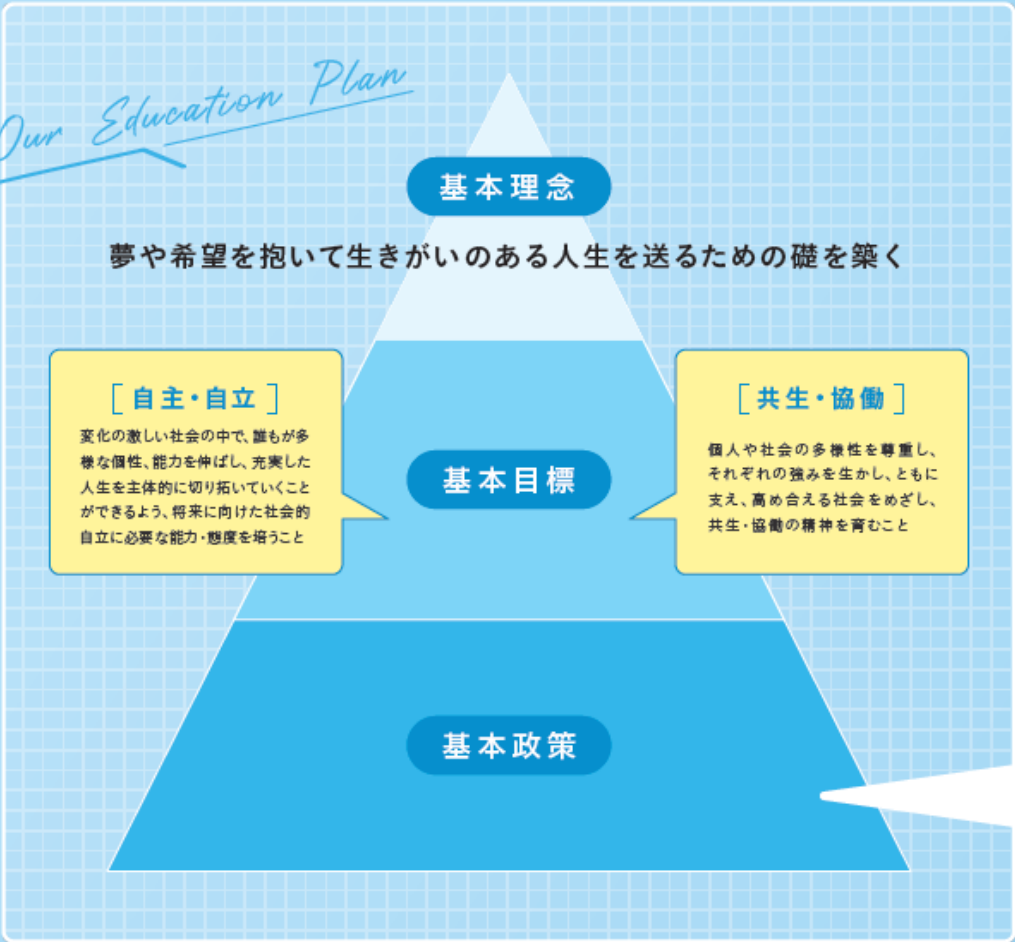
* 栄養教諭を中核としたネットワーク支援・・・神奈川県が進めている取組。本市においては、複数の中学校で構成するネットワークを構築し、栄養教諭が中核となり、学校栄養職員や中学校の食育担当者と連携しながら、食育の推進を図る。

○本市においては、学校栄養職員を新規採用し、在職期間が8年以上の者を対象に特別選考を実施し、合格した者を栄養教諭として任用していることから、育成指標ステージ0では対象を学校栄養職員のみとしている。

わたしたちの教育プラン

「かわさき教育プラン」は、約10年間の教育がめざすものを当事者間で共有し、連携・協力のもと、取組を推進するための指針となるものです。

どのような社会状況においても、夢や希望を抱き、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動しながら、いきいきと躍動する市民を育て、一人ひとりがお互いを尊重し、支え合い、高め合いながら共に生きる社会をつくることをめざします。



個性を生かした教育のために「キャリア在り方生き方教育」

一人ひとりの将来の社会的自立に向け、必要な能力や態度を育てる教育です。社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育であり、子どもたちの社会的自立や共生・協働の精神を培う視点から、各学校における教育活動を幅広く見直し、これまでの取組を価値づけ、改革していくための理念です。

学校数	
小学校	115校
中学校	52校
高等学校	5校
特別支援学校	4校

※令和7年4月1日現在

① 人間としての在り方生き方の軸をつくる

自己有用感や規範意識、人と関わる力等の子どもの社会的自立に向けて必要な能力や態度及び共生・協働の精神を、小学校段階から全ての教育活動を通じて計画的・系統的に育む「キャリア在り方生き方教育」を推進します。



地域学校の様子

② 学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす

学ぶ意欲を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」をバランスよく育み、将来の予測が難しい社会を生き抜くために必要な「生きる力」を確実に身につけることをめざします。



GIGA端末を活用し、授業の様子

③ 一人ひとりの教育的ニーズに対応する

障害の有無や生まれ育った環境に関わらず、すべての子どもが大切にされ、いきいきと個性を発揮できるよう、一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していく教育（支援教育）を学校教育全体で推進します。



障害児支援の様子

④ 良好な教育環境を整備する

地域における子どもたちの見守りや、防災教育の推進などにより、学校安全を推進します。また、「学校施設長期保全計画」に基づく改修工事やエレベータ設置などバリアフリー化の取組を進め、より多くの学校の教育環境を早期に改善し、安全・安心で快適な教育環境を整備します。



新小中学校（令和7年度開校）

⑤ 学校の教育力を強化する

「地域とともにある学校」づくりを推進しながら、研修等を通じて教職員一人ひとりの資質・能力の向上を図るとともに、教職員が子どもたちと向き合う本来の業務に一層専念できる体制を再構築することで、学校の教育力を高めます。



教職員研修の様子

⑥ 家庭・地域の教育力を高める

各家庭における教育の支援や、大人も子どもも学び合い、育ち合うための環境づくりを通じて、家庭・地域の教育力の向上を図ります。



地域の親子読書の様子

⑦ いきいきと学び、活動するための環境をつくる

市民の自主的な学びの機会を提供し、地域づくりにつながる学びや、学びを通じた出会いを促進し、地域における生涯学習の担い手を育成します。社会教育施設について市民サービスの向上に向けた取組を進め、学校施設の有効活用などを推進し、学びの場の充実を図ります。



市民教育館の様子

⑧ 文化財の保護・活用と魅力ある博物館づくりを進める

「川崎市文化財保存活用地域計画」に基づき、国史跡横樹宮官衙遺跡群をはじめとする文化財の保護・活用を推進します。日本民間国際及びかわさき市と緑の科学館の博物館活動の充実により、各施設の更なる魅力向上を図り、本市の魅力として発信します。



横樹宮文化公園